

1. 開会

2. 学校運営協議会 会長挨拶

- ・先日の特色選抜：定数24名に対して27名の受検者が全員合格
- ・県北の中学生：最近では宇都宮方面の希望が多い（特に成績優秀者）
- ・一般選抜を控えて（明日から出願が始まる）
- ・本校の魅力化・特色化について、忌憚のない意見を願う

3. 黒羽高等学校 校長挨拶

- ・部活動の精選においても、学校運営協議会で貴重な意見をいただくことができた
- ・生徒数が減ると収入も減り、今まで通りの活動が難しくなっていく（PTAや同窓会等も）
- ・今回の学校運営協議会は、今年度最後であり、2年の任期の最後となり、感謝します。本日も黒羽高校のために、様々な意見をいただきたい

4. 議事【進行 会長】

(1) 学校からの説明・意見交換

① 今年度の進路指導の取り組み等（進路）（資料P1~7、HP資料）

【1学年】自己理解+α

- ・進路希望調査：生徒と保護者の意見の(不)一致が分かる
- ・基礎力診断テスト（6月）
- ・「進路の手引き」の活用（8月登校日）で幼少期からの歩みを振り返る活動
- ・リクルートの外部講師を招いて学問・職業研究を実施（11月・1月）
- ・4名のOB・OGによる座談会（2月）
- ・3年生6名による合格体験発表会（2月）：資料にはないが、HPを見ていただきたい
- ・業種説明会：企業を知る・地元を知る（2月21日実施予定）

【2学年】より具体的な動き・活動をしよう

- ・適性検査で新たな気づきを
- ・例年（本校から近い場所）から新規開拓し、「生徒目線」のインターンシップ
→ 地元 < 自宅からの通いやすさ（意見を伺いたい）
- ・バイアス（偏見）について学ぶ（大田原市の協力）
- ・3学年担任による座談会
- ・保護者対象進学説明会（例年7月から3月に変更）
— 奨学金や学費の絡みもあり、外部にも協力いただく

【 3 学年 】

- ・ ころみ学習（探究学習）と関連づけた進路ガイダンス
- ・ 3 者面談（6 月）：AO 入試を控えて
- ・ 応募前職場見学：2 → 3 社（最大 4 社）に増やす
- ・ 盆の前後にもガイダンス、履歴書・面接指導
- ・ 面接練習は全職員であたっている
- ・ 4 大進学希望者は共通テストの受験を勧めた
- ・ 進路状況で「その他（在家・アルバイト等）」がない
 - ① 応募前職場見学で、ほとんどの希望生徒が 3 社行った。2 社は 1 名のみ
 - ② 生徒が素直。学校の指導に乗っかってくれた
 - ③ 2 年次の冬から求人票の見方を学んだ
 - ④ 担任の粘り強い指導：療育手帳の取得、希望職の中でも違う仕事を探した等
- ・ 「多くの人と関わることで、自分が成長できた」と感じた生徒がいた

② 入学者選抜について（教頭）（資料 P8）

- ・ 出口の保証のみでなくマッチングも行い、本校の強みを生かしたい

③ 学校評価アンケートについて（主幹）（別冊資料）

- ・ おおむね良好・好意的な評価
- ・ 校則に対する不満：よりよい校則の在り方を考えていきたい
- ・ 部活動の精選：生徒数の減少による。残った部活動の活性化を目指す
- ・ HP に加え、Instagram を開設：SNS で「開かれた学校」づくりを部活動の更新が少なかったか（HP）
- ・ 決まった生徒の遅刻が多い。背景を探っていく。
- ・ 生徒の減少に伴い、職員も減少する。清掃が行き届かない箇所が今後出てくる

【 質疑応答・意見 】

- ・（会長）素晴らしい進路指導の取り組み。それが結果に結びついてくる
- ・（委員）市内の企業を訪問すると「最初は分からなくてもよい。丁寧に指導するので、できるだけ長く勤めてほしい」との意見を聞く。企業に予め理想の生徒像を聞いておくと、マッチングしやすいかもしれない。
- ・（委員）どこの学校も、特色がやや薄れていっている印象。本校は「連帯感」を売りにするのはよいと思う。
- ・（委員）卒業生や 3 年生、3 学年担任による進路
- ・（委員）キャリアパスポートは活用されているのか。
→ 担任の手元にあり、面談等で活用している。進路指導部としての活用はしていない。
- ・（委員）自分を振り返るためにキャリアパスポートを見てみるとよいかもしれない。

(2) 令和 7 年度学校運営に関する基本的な方針について（校長）→ 承認（別紙）

- ・ 基本方針の変更はなし

- ・努力点・具体策：進路について「見える化・分かる化」を行った

(3) 学校の魅力化・特色化について（各委員）

- ・（委員）進路が素晴らしい。HP という枠はあるかもしれないが、もっとPRできないか。
- ・（委員）保護者としても、子どもの進路が早く決まると安心感があるのではないか。
- ・（委員）高1の段階で進路が明確でない・分からない生徒は多いのではないか。3年生の話にもあった「多くの人と関わる」は一つの軸になりそう。
- ・（会長）就職をする生徒たちに対しての取り組みをPRしてもよいのではないか。
- ・（委員）その企業がどのような仕事をしているのか、「生徒の選択肢を増やすために頑張っている」ことを発信していくのもよさそう。
- ・（委員）家庭や親子関係によって進路希望もかなり左右されている印象。
- ・（会長）丁寧な指導をされている感じがする
- ・（会長）高校は、人生の方向性（職業）を決める大切な時期。3年間を通して、興味・しつかりとした考えを探して行ってほしい
- ・（委員）PTAは学校・職員に対してどう思っているのか。アンケート結果によると、学校の思いと保護者の思いが一致していないのではないか。
→ スタディサプリへの取り組みやPTA新聞を通して伝えていきたい
- ・（委員）努力点と具体策に（家庭の後ろに）PTAという文言を入れてはどうか。
- ・（委員）PTA活動の見直しを行っている。コロナ禍を経て、行事に協力してくれる保護者は減ってしまった。現会員に確認しても行事を減らしたいという意見を聞いた。八溝祭へのボランティアを募ったが、2・3名の協力だった。イベントを企画しても定員に満たず、実施できないのが現状。組織の在り方（ボランティア制）も検討している。組織を残したいという思いはあるが、役員希望者が見つからない。「保護者だけ」の行事では人が集まらない。生徒をサポートするというスタンスなら足を運びやすいのではないか。
- ・（校長）生活があり、協力したくてもできない保護者もいる。ボランティアをしたいが、行ったら役員をやるよう言われるのではないかと思う保護者もいる。役員がいなくても、保護者と学校がつながることができるような活動を考えたい。

(4) その他

今回で任期は終了。来年度についてはまた声をかけさせていただきたい。（教頭）

5. 閉会